

2018年度 6月 理事会議事録

1日時：2018年6月21日（木）19：00～20：50

2場所：神奈川県作業療法士会 事務所

3理事会定数

出席理事：錠内・木村・金山・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・作田・村越・澤口  
佐藤・大郷 13名

欠席理事：野々垣・吉本・野本・名古屋 4名

出席監事：田中・糊沢 2名

その他：宮沢（事務局 書記）

4議長団選出

議長：錠内会長

副議長：金山事務局長

議事録署名人：玖島理事・田中監事

5配布資料

- (1) 資料1 2018年6月21日理事会 各部・委員会提出資料
- (2) 資料2 地域包括ケアシステム
  - 1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業
  - 2) 地域包括コミュニティ事業
- (3) 資料3
  - 1) 事務局 臨床実習指針・作業療法臨床実習の手引き送付の案内
  - 2) 地域医療介護総合確保促進法に基づく平成31年度神奈川県計画（介護分）策定に向けた「介護従事者の確保に関する事業」の意見募集について
  - 3) ウェブサイト管理委員会 更新件数・アクセス件数
  - 4) 渉外①逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
    - ②逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
    - ③逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
    - ④介護人材確保対策推進委員会（金山）
    - ⑤医療職連合会総会（金山）
- (4) 当日配布
  - 1) 渉外 第37回神奈川県病院学会第1回学術委員会（錠内）
  - 2) 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会の設定について（錠内）
  - 3) 交通事故被害者支援神奈川県講習会ちらし（事務局）

## 6 回覧資料

- (1) 横浜市立大学医学部リハビリテーション科 50 周年記念誌
- (2) OT 協会 作業療法臨床実習指針・実習の手引き
- (3) 岡山県学童保育連絡協議会 事業報告書
- (4) 兵庫県士会「他職種連携による医療介護連携および在宅支援に資する人材キャリアアップ研修事業」報告書、リーフレット
- (5) 奈良県作業療法士会「第 10 回奈良県作業療法学会抄録集」
- (6) 愛知県作業療法士会機関紙「愛知作業療法」
- (7) 神奈川県医療ソーシャルワーカー 機関誌
- (8) 日本理学療法士協会「障害者自立支援機器の活用のための支援体制構築の活性化に向けた調査研究事業」ガイドブック・事業報告書
- (9) 北海道士会「北海道作業療法」
- (10) 青森県士会「作業療法研究」
- (11) 宮城県士会「みやぎ作業療法 11 号」
- (12) 第 38 回近畿作業療法学会抄録集
- (13) 日本福祉用具供給協会「平成 29 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 福祉用具の利用に関する効果研究事業 調査結果の概要」
- (14) 神奈川県精神神経科診療所協会誌 VOL18

## 7 審議事項

- (1) 重点課題の要旨
  - 1) 公益法人化対策委員会「公益事業を担う部署について」  
公益法人化対策委員会が企画調整の役割を担い、公益事業の提案を行うよう検討していく。
  - 2) 公益法人化対策委員会「外部の方の役員について」  
公益法人から提案していく。
  - 3) 認知症対策委員会「ボランティア保険について」  
ボランティア保険に入ることは承認。今後については継続審議とする。
  - 4) 地域包括ケアシステム推進委員会「横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について」  
詳細を理事・監事と再確認した。
- (2) 審議項目の要旨
  - 1) 学術部「部員の承認」  
佐々木祥太郎氏（聖マリアンナ医科大学西部病院）学術誌査読委員  
迫田裕司氏（田名介護老人保健施設光生）学術誌編集部員 ⇒ 2 名とも承認

- 2) 制度対策委員会「部員の承認」  
鎌田博之氏（横浜なみきリハビリテーション病院）福祉用具対策班  
神保匡良氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）福祉用具対策班⇒2名とも承認
- 3) 学会評議員会「部員の承認」  
机里恵氏（横浜リハビリテーション専門学校）⇒承認
- 4) 学会評議員会「2019年度 第17回神奈川県作業療法学会の会場について」
  - ・2019年7月21日（日）メルパルク横浜にて開催。
  - ・会場積み立ては100万だが、ワンフロア貸し切ることによって140万。ワンフロアのメリットを考慮し40万を補正する。⇒承認

## 8 審議内容（詳細）

### （1）事務局

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

#### ①OT協会

- （ア）OT協会 作業療法臨床実習指針・実習の手引き アンケートの依頼あり。
- （イ）日本作業療法士協会とは（パワーポイント資料）送付 学生向け入会案内 CD-R
- （ウ）協会パンフレット（一般向け、学生向け、英語版）配布申し込みのお知らせ
- （エ）OT協会 推進活動用ポスター 例年通り2名以上作業療法士がいる職場へ送付
- （オ）山梨県士会役員体制および事務局移転（会長：山本伸一氏 事務所：春日井サイバーナイフ・リハビリ病院）
- （カ）京都府士会役員改選について（会長：平山聡氏）
- （キ）青森県士会役員改選について（会長：原長也氏）

#### ②神奈川県

- （ア）地域医療介護総合確保促進法に基づく平成31年度神奈川県計画策定に向けた意見募集について 7月31日まで。同時期に医療関係事業もあり  
⇒事務局で取りまとめて提出する

#### ③医療職連合会

- （ア）2018年6月20日（水）18：30～総会 出席：錠内会長、大郷理事、金山（渉外）
- （イ）公益社団法人神奈川県放射線技師会 役員改選（会長 大内幸敏氏 継続）
- （ウ）公益社団法人日本臨床工学会終了のお礼

#### ④その他の関係団体

- （ア）SIG 姿勢保持講習会案内 2018年8月4日～5日 東洋大学 HP でシェア
- （イ）第27回在宅医療・介護セミナー「あなたはどこで療養しますか」実施報告
- （ウ）横浜市大リハ科50周年記念祝賀会 渡邊顧問参加 お礼状

(エ) 神奈川県病院協会 特別講演および懇談会 2018年6月20日(水) 出席：野々垣  
副会長参加

⑤ 県士会内ワーキンググループ

(ア) ブロック化

ア) コア会議 2018年5月15日(火) 出席：澤口・神保・大郷・金山

審議事項：総会での報告内容について、アンケート(47士会にブロック化に関するアンケート)実施 9士会から返信があったが8士会はブロック化。1つはしたものの活動できていない。ブロック化して事務的に煩雑になっているが活動はよいという意見多い。

イ) コア会議 2018年6月28日(水) 19:00～出席予定：澤口、神保、大郷、吉本、金山

ウ) 資料の配信 2018年7月6日ごろ アンケート結果を踏まえた資料の作成、理事MLに配信

エ) 全体会議 2018年7月12日(水) 19:00～出席予定：会長、副会長、澤口、神保、大郷、吉本、野本、佐藤、金山、その他必要部署及び参加希望理事

(イ) 研修会検討会

ア) 2018年6月7日(木) 出席：野々垣・木村・佐々木・奥原・遠藤・佐藤・大郷・吉本・金山

審議事項：研修会費について各部・委員会で検討する、研修会申し込み外部フォームの活用

・無料フォームは信頼できるか確認してから検討を(作田)。

⑥ 事務報告

(ア) 電話の購入について 古くなったため新しいものを購入予定

(イ) ファイルメーカーについて 昨年も友利先生に協力いただいたが、不備が発生したため今年度も依頼予定

(ウ) 退会後の会費引き落としについて 3年前に退会したが、自動引き落としの変更ができず返金していた。しかし、引き落とし業者との連携ミスでその後も会費が落とされていたことが判明。お詫びとともに返金した。

(エ) 平成30年度の法人市民税申告書と減免申請書 54,500円の横浜市の市民税が免除されるが毎年申請が必要。

(2) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 なし

3) 報告

①2018年度 各部署の事業費振り込み完了(2018年5月末日)

- ②通帳・カードの引き渡し 6月理事会、検討会、郵送にて対応
- ③中間監査日程 決定 2018年10月13日(土) 14時～ 県士会事務局
- ④会計ファイル2018年度版 配布 (4～6月分は7/10(火)までに提出予定)
- ⑤各研修会書類について 今年度より終了後提出する『研修会報告書』を財務部にもメールで提出 (先日の研修会検討会で依頼した内容)

### (3) 学術部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 7審議事項「審議項目の要旨」参照
- 3) 報告

#### ①研修会について 身障部門7つ、精神は検討中

##### (ア) スキルアップ研修事業 (講習会, 今年度予定分)

- ア) 作業療法士のはじめの一步～新人のうちに身につけたい作業療法の専門性～  
友利幸之助氏 (東京工科大学保健医療学部准教授 作業療法士)  
2018年6月17日(日) 9:30～14:00 場所: イムス横浜国際看護専門学校  
参加数: 100名(予定)

##### イ) 脳卒中患者に対するCI療法について (仮)

- 高橋香代子氏 (北里大学医療衛生学部教授 作業療法士)・竹林崇氏 (吉備国際大学保健医療福祉学部 准教授 作業療法士)  
2018年9月24日(月・祝日) 場所: 北里大学 IPE 棟大講堂  
参加数: 200名(予定)

##### ウ) 高次脳機能障害の作業療法について (仮)

- 森下史子氏 (済生会横浜東部病院 作業療法士)  
2018年10月20日(土) 場所: 済生会神奈川県病院(予定)  
参加数: 100名(予定)

##### エ) 関節リウマチの治療・スプリント療法について (仮)

- 中西理佐子氏 (横浜南共済病院 作業療法士), 医師, 薬剤師(予定)  
2018年11月23日(金・祝日) 場所: 横浜南共済病院会議室(予定)  
参加数: 50名(予定)

##### オ) セラピストのための研究の第一歩～研究とは? 研究デザインとは?～ (仮)

- 内田健太郎氏 (北里大学医学部整形外科学講師, 医学博士臨床工学士 )  
2018年12月(日)(予定) 場所: ユニコムプラザ相模大野会議室(予定)  
参加数: 70名(予定)

##### カ) 脳血管疾患に対する運動機能改善のアプローチ(仮)

- 田邊浩文氏 (湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科教授 作業療法士)  
2019年1月20日(日) 10:30～16:30(仮) 会場: 横浜 YMCA 学院専門学校

参加数：30名（予定）

②2018年度研究助成事業 研究課題募集（平成30年5月1日～7月31日まで）

- ・今年度より応募要件の研究組織（若手推奨など）を一部変更。  
（研究Ⅰ）研究組織は2法人以上（研究分担者は神奈川県士会会員を1名以上含む）  
（研究Ⅱ）研究代表者は免許取得7年目以下で、研究組織は1法人以上
- ・県士会ホームページおよび県士会ニュース（6月号）で告知、掲載済。
- ・今年度課題：県学会や臨床大会での研究相談所の開設予定。メールでの研究相談窓口開設。過去の助成者に対して当学術誌論文化の促しとマニュアル化する。

③学術誌「神奈川作業療法研究」の新編集部の設立

- ・今年度より北里大学幅田智也氏が新編集長となり、引き継ぎ作業が終了した。
- ・昨年度までは白濱編集長が一人で行っていた業務を新編集部の設立により、組織として運営を行って行く予定。現在、編集部員（編集長，編集委員3人，計4名）で開始しているが今後も編集部員を募集し、長期的に安定した編集部の確立を目標とする。
- ・今年度課題：住所を県士会事務局に移転（済）・論文データや個人情報事務局の施設付棚で管理・査読システムの見直し（紙ベース投稿など）・査読委員の再選定や増員（専門分野別）・論文支援制度のマニュアル化および実践・英語 abstract 導入・表紙デザインの変更・コスト削減等

(4) 広報部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①ニュース

- (ア) 発行数 今年度も年6回発行を実施
- (イ) 費用について 会員増加あるも印刷費節約や外部臨時収入（わずかだが）などで費用も横ばいからやや右肩上がり程度で実施できている。30年度も同様に実施してゆく予定。
- (ウ) 6月発行号では新入会員向けの案内も掲載予定

②対外広報

- (ア) 活動報告 5月は活動なし
- (イ) 活動予定
  - ア) 横浜地区「ヨコハマヒューマンテクノランド」2018年7月20日21日  
作業活動体験・作業療法紹介・介護相談・パンフレット配布・アンケート実施
  - イ) 県央地区「海老名駅（ららぽーと海老名）にて介護相談会」2018年8月上旬  
介護相談・パンフレット配布・アンケート実施

(5) 福利部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①表彰関連

- ・2018年5月27日の社員総会にて、JAOT 特別表彰、県士会表彰受賞者への表彰を実施。
- ・当日不参加の方へは、記念品等を郵送。

②学術部合同新人オリエンテーションについて

2018年6月17日(日)、IMS 横浜看護専門学校(長津田)で開催。研修会后、40名の参加あり。

新人でないからと参加を断る方や他県士会から入会された方などは参加しにくいので名称を変更してはどうか(金山)。

③求人掲載(2018.4.19~6.20)

新規掲

載26・変更5・削除5・問い合わせ0 それぞれ変更済

(6) 地域リハビリテーション部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①研修会について

(ア) 研修会企画

- ア) 多職種精神保健セミナー
- イ) 特別支援教育など講習会
- ウ) 地域リハ人材育成研修会(介護予防編)
- エ) 地域リハ人材育成研修会(地域ケア会議編)
- オ) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会

2018年2月頃 会場：未定

カ) 難病リハビリテーション講習会 2018

2019年2月10日(日) 予定 会場：ウィリング横浜

②神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

(ア) 2018年度 三団体協議会の委員改選

- ・OT 士会からは木村副会長、遠藤理事、佐藤準部員再任
- ・会長；ST 士会船橋氏、副会長；PT 士会相川氏・OT 士会木村副会長 再任
- ・監事；金山事務局長(各県士会持ち回りで担当)

(イ) 地域リハビリテーション連絡会活動助成金

- ・内規を作成し、各連絡会へ助成金を出す方向で調整。

### ③研修会報告、予定

#### (ア) 訪問リハビリ初任者研修

2018年6月3日(日) 場所：横浜リハビリテーション専門学校  
参加者 72名 (うちOT18名)

#### (イ) 訪問リハビリ実務者研修会

2018年7月7日～8日 場所：横浜リハビリテーション専門学校

#### (ウ) その他

ア) 県の生涯教育推進事業 今年度の手続きを実施中

イ) OT協会主催地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会

2018年7月21日～22日 昨年度と同様に地域リハ部で対応。士会の人材育成研修会の内容に盛り込む予定。

ウ) 第9回訪問リハ・地域リーダー会議

2018年5月18日～19日 会場：タイム24ビル 参加者：遠藤理事、渋谷部員  
今年度の訪問リハ実務者研修会の要件と訪問リハ財団の取組について報告

### (7) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 7審議事項「審議項目の要旨」参照

3) 報告

#### ①福祉用具関連事業班

##### (ア) 福祉用具に関する会員向け研修会

第1回 2018年6月3日開催 15名申し込み 10名参加

第2回 2018年7月28日開催予定 現在申し込み7名

##### (イ) 福祉用具に関する情報提供、相談支援

###### ア) 生活行為工夫情報モデル事業

・2018年6月23日(土) OT協会主催モデル事業連絡会議出席予定(沼田 長田)

内容を踏まえて士会内他部門との連携会議を実施。MTDLP、地域リハ部と連携しすすめていきたいと考えている。

・活用方法や活用している、していきたいというところがあれば野本理事へ連絡を(木村)。

・活用しようとしたがPCの動きが悪くフリーズしてしまった(村越)。

##### (ウ) 他団体からの要請協力

ア) H.C.R(2018年10月10日～12日)

・「ふくしの相談コーナー」にHCRから協力打診が協会にあり、今後協会より東京(福



社用具部)、神奈川(福祉用具班)へ例年通り事業依頼がある予定。例年通り引き受ける予定。

イ) 福祉用具トーカー社員研修依頼: 事務局へ対応協力方法を提案中

## ② 社会保障制度対策班

(ア) 自動車運転と OT に関して

- ・ネットワークづくりを目指し、有志メンバーと意見交換会を実施予定(2018年7月6日)。現状把握と県士会としての取り組みのニーズを計る。
- ・協会も特設委員会の期間が延長され、OTとして力を注ぎたい分野の一つと考え、「班」としての活動も検討する。

(イ) 日本作業療法士協会の情報配信等を県士会ブログへ掲載

(ウ) 特別支援教育に関わる作業療法に関する取り組み

- ・特別支援教育に関わる作業療法士に対し、情報収集を継続する。他部門との連携または業務統合も検討する。

## ③ 災害対策班

(ア) 安否システムの修正を図り、今年度もデモ運用を行う(協会の一斉取り組みがあれば合わせて)

(イ) 神奈川 JRAT との連携、情報共有のためのミーティングを持つ。

## (8) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 なし

3) 報告

### ① 各部署のページの更新(2018年度版への書き換え)依頼

(ア) 項目

- ア) 活動内容の紹介・・・必要に応じて書き換える
- イ) 2018年度活動計画・・・今年度の内容へ書き換える
- ウ) 構成部員・委員・・・必要に応じて書き換える 氏名(所属)を守る
- エ) 部長・委員長からのひと言・・・必要に応じて書き換える

### ② 方法

(ア) ウェブページをコピーしてワード等へ貼り付ける

(イ) 変更する文言を赤字で記入する

(ウ) 削除する文言には取り消し線を入れ赤字にする

(エ) 締め切り: 2018年6月末

(オ) 宛先: kaot@kana-ot.jp 件名: 部署ページの更新

(2) 「県士会長のあいさつ」のページの書き換え 本文(500~1000文字程度、顔写真も)

(9) 学会評議委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 7 審議事項「審議項目の要旨」参照

3) 報告

①第3回神奈川県臨床作業療法大会 2018年7月29日(土)はまぎんホールヴィアマーレで開催

②第17回神奈川県作業療法学会→理事メールで審議済

学会長 野々垣睦美氏(クラブハウスすてっぷなな)

ワンフロア貸し切るメリットとして他団体の利用がないこと、部屋だけでなく通路の利用が可能になることがあげられる。

(10) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題

①公益事業を担う部署について

- ・公益法人の条件は予算の50%以上を公益事業であること。
- ・公益事業が50%以上かをみるには公益事業を行うところをまとめたほうが会計処理しやすいのでは(案1)。
- ・現状の部門で実施の場合、会計処理は煩雑。各事業で公益か、共益どうか判断する必要あり(案2)。
- ・協会の総会でも現状を視覚化してほしいとの意見もあった。
- ・検討会のようなものを作る方法もあるか。
- ・公益としては案1で考えている。案2だとしても企画を調整する部署は作ったほうがよいか。

(ア) 意見交換

財務：案1。その後のロードマップが大切では(事前メール)。

規約：案1。予算を振り分けるうえで分かりやすいのでは(事前メール)。

奥原：公益事業を担う意味について。公益事業を検討するのではなく、運営まで行うのか。

→運営まで行う事業部を目指したいが今は検討中。

奥原：会計と事業実行班をわけることになるのなら難しいのでは。そこは明確する必要があるのでは。

大郷：公益かどうかは予算で判断するのか。

佐藤：予算ベースで判断する。50%以上ということは組織図上、実行部隊の人員が増えるということ。しかし、公益事業は先方との関係性も大きい。公益法人になったら公益事業を継続していく必要がある。具体的な検討が必要。予算以上に綿密な検討が必要だと考えると検討会のほうが取り組みやすいのでは。また、予算ベ

ースではあるが、考え方として運営ベースのほうがいいのでは。現在すでに幅広く事業展開しているのです。

大郷：公益事業かどうかを判断しそれを取りまとめる（調整）役割が必要なのでは。部署によって方向性がことなるのでそれぞれの部・委員会が検討するのは難しいように思う。

澤口：企画調整が提案し、三役でさらに判断し、理事会で承認するという流れを想定している。企画調整は各分野から委員を出してはどうか。

奥原：運営するかどうかより横の流れを見ていくところが必要ということ。

澤口：県等にもっていく際、見やすいほうがよいのではないか。

木村：昨年度から計画を丁寧につくっているため判断しやすいのではないか。次年度も公益事業を増やしていくよう検討していきたい。

澤口：公益事業を増やすのであれば公益法人にすると決めないと実行できない。

会長：公益事業を増えてきたら公益法人化を目指していくという認識。メール審議で検討し、理事会でも検討したが公益法人になるという決議はとっていない。横断的に考えたり調整する部署が必要なのはその通り。

佐々木：事業を公益かどうか判断するうえで工夫ができるのでは。

木村：公益事業が増えるのであれば結果として公益法人化に近づくという認識。

会長：公益法人化対策委員会として提案しては。

神保：メール審議で公益法人化を目指していくことになると思うけど情報整理をしていこうという話のステップに入っている。

木村：現在の事業を振り返ることで生まれる間接的な公益事業ではなく直接的な公益事業を増やしていこうという話になった。

奥原：いっぺんにはできないでの前向きに検討している。公益法人にするとはいえないので目指していこうということ。

村越：予算をあらって行った事業が本当に公益となるのか判断するところが必要では。公益事業かどうかでないのか判断するところがあってもいい。

澤口：企画調整委員会が必要では。すでに出ているものを振り分けるのではなく前向きに事業を検討する。

佐々木：公益法人化対策委員会と企画調整との差は何か。

澤口：公益法人化対策委員会は事業実行部隊ではないと考えている。

奥原：調整部門が公益法人対策委員会ではないか。

田中：今年度の事業計画をみて、公益事業が何%かまとめ、次年度に向けて提案してはどうか。

大郷：現状何%の公益事業を目指そうといってくればどうか考えやすい。

会長：次年度の計画でも公益事業かどうかを問うていく。それを参考に事業提案やとりまとめをしてもいいのでは。

澤口：今後、公益法人化対策委員会はなくなり、企画調整を作ったらいいのではという  
思いだった。公益法人化対策委員会が企画調整の役割であるなら提案していく。  
⇒公益法人化対策委員会が企画調整の役割を担い、公益事業の提案を行うよう検討し  
ていく。

②外部の方の役員について ⇒公益法人から提案していく。

2) 審議項目 なし

3) 報告 部員確保に努める。

#### (11) 認知症対策委員会

##### 1) 重点課題

###### ①ボランティア保険について

- ・ 2社の見積もりを取った。
- ・ A社：最低人数50人から。対人賠償2億円。
- ・ 社協のボランティア行事保険：1回560円。その都度計上する。死亡時400万、後遺障害400万、入院保険3500円/日、対人賠償2億円、対物賠償1000万円。また、行き返りの保証もする。
- ・ 今年度については早急性があるため社協の保険を検討。
- ・ 次年度に向け他社から見積もりをとっていく。
- ・ 協会の保険会社については事務局から問い合わせする。

##### (ア) 意見交換

大郷：横浜市に聞いてみたところ横浜市がカバー。茅ヶ崎は直接指導ではないので事業所が入っている保険でカバー可能とのこと。対外事業時保険について確認する意識を持ったほうがよいのでは。

会長：見積もりをとる関係で各部・委員会で対象となる人数・事業数を確認する。

奥原：各部・委員会の活動については行き返りを含めるかで異なるのでは。

⇒ボランティア保険に入ることは承認。今後については継続審議とする。

2) 審議項目 なし

3) 報告

###### ①研修会「認知症アップデート研修会」

2018年7月1日(日) 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加予定：59名(修了証の発行、印の必要があるため締め切り後は断っている)

#### (12) 地域包括ケアシステム推進委員会

##### 1) 重点課題

###### ①横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の説明

- ・ 主な派遣の内容：元気づくりステーションへの援助、地域ケア会議、保健師等向けの研

## 修講師

- ・派遣の流れ：各区保健師→横浜市→大郷理事→派遣
- ・派遣回数：今年度 63 回（昨年度は 54 回）。PT・ST は依頼が下がっているが OT は上がっている。
- ・介護予防リーダー（住民）が住民向けに指導する育成についての協力依頼あり。OT には認知症について、認知症予防についての希望あり。

## 2) 審議項目 なし

## 3) 報告

### ①神奈川県協働事業への協力「地域における障害者スポーツ普及促進とかながわパラスポーツの推進」について

- ・NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF から協力依頼あり。県内の特別支援級をパラスポーツの拠点にしてほしいと県から依頼されているとのこと。
- ・神奈川県立麻生養護学校を拠点として、特別支援学校の在校生・卒業生や地域の特別支援級の児童生徒、さらには地域の高齢者をはじめとする地域住民と一緒に運動を通して交流するインクルーシブな地域包括コミュニティ拠点を目指す。
- ・何をしていくかは検討段階だが、2018 年 6 月 23 日（土） 10:00~14:30 開催の麻生スマイルフェスティバルフェスティバルにブース出展（重身者むけのストレッチ）。
- ・麻生養護学校の OT とも知り合えた。
- ・OT 協会の第三次作業療法五ヵ年計画に重点課題として「地域包括ケアシステムにおいて、医療・介護連携のみならず、障害児・者にも対応できる作業療法（士） 促進のための方策を提示する」が新規で追加された。

会長：PT 士会の会報によると 2020 年の当事者コメントを作成し行政へアピールしていくとのこと。

神保：パラリンピックに関する広報が始まっている。名古屋理事より情報あり（YMCA 関係か）。予算の問題もあるので審議が必要。

木村：野本理事ともシェアしてほしい。

### ②OT 協会の総合事業実践事例集の作成協力

最終校正が終了した。OT 協会の HP からダウンロード可能。協会は行政への広報として利用してほしいと考えている。

## (13) その他

### 1) 渉外

- ①渉外逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
- ②逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
- ③逗子市地域ケア会議個別会議（吉本）
- ④介護人材確保対策推進委員会（金山）
- ⑤医療職連合会総会（金山）

⑥第 37 回神奈川県病院学会第 1 回学術委員会（会長）

- ・ 2018 年 11 月 12 日 神奈川県病院学会「働き方改革」シンポジスト神保理事
- ・ 会場係 2 名。働き方改革のポスター発表ができれば各団体から 1 名は出す。

2) 医療職連合会（会長） 20 周年データ届いた

大郷：会費について OT 会 17 万円、PT 会 54 万。発言が必要なのでは。支出のほとんどが会報誌の発行であり、発行部数が多いのでスポンサーを検討する方法もある。

木村：会費がない年もあったが。

錠内：会費については PT 士会とともに問題視している。会費がなかった年は公益法人化を目指していたため貯蓄があり、それを取り崩していたから。検討していく。

澤口：公益法人と一般社団では見方が異なる。

3) OT 協会事業「介護ロボット シーズ・ニーズ連絡協議会」(会長)

全国 50 か所設置。委員長は各士会会長が担当。2018 年 7 月 14 日（土）に第 1 回目のグループワークを開催予定。興味がある理事は会長まで連絡。詳細情報は理事とシェアする。

4) ブロック化の情報

①横須賀・三浦地区（奥原）

市から依頼があり、三団体協議会作るようになった。小河原氏（県立大）が窓口となっている。士会のブロック化についても伝えている。

②川崎南部地区連絡協議会（村越）

ケママネ研修会を一緒に行っている。市から参加したいとの依頼あり。

5) 年号について（村越）

行政等も西暦で統一しているので県士会も検討してはどうか。⇒西暦で統一する

6) 来年度からの中長期計画について メール審議とする。木村副会長から配信。

7) 次回理事会審議内容 次年度計画を開始する。資料等はメールで配信する（事務局）。

9 次回理事会日時・場所

- (1) 臨時三役会開催日 2018 年 7 月 5 日（木）19:00～
- (2) 三役会開催日 2018 年 8 月 10 日（金）19:00～
- (3) 理事会開催日 2018 年 8 月 23 日（木）19:00～
- (3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上（文責：明立・金山）